

宝物はすぐそばに

校内研通信

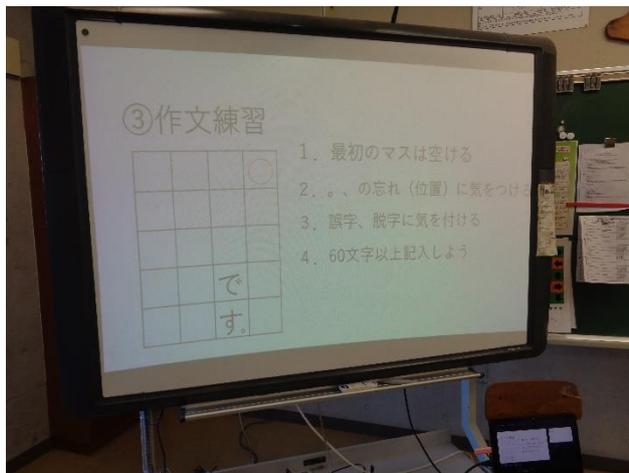
第37号

R7.12.8

発行者:校内研担当 仲村智

お互いを認め合うあたたかい学級でこそ人は成長できます

12月8日(月)3校時、2年13組にて上里吉輝先生が自立活動の授業を公開しました。本時のねらいは、聞く力・書く力を高めることです。導入で本時の活動内容をそのねらいを丁寧にわかりやすく説明しながら、最初の活動である聞き取りワークシートに取り組みました。本時のメインの活動となる作文につながるような前半の活動を計画し、また作文の内容についても、先週行われた総合文化学習発表会を振り返るお題にするなど、授業全体の構成や学校行事との連動など、工夫を凝らした授業であったと思います。その中でも、特に印象に残っているのは、吉輝先生が総合文化発表会の際に実際に生徒の活動の様子を見て感じたこと(良いところ)を細かい状況もあわせて一人一人褒めていたことです。温かく見守り、子どもの確かな成長を喜ぶ親の姿を吉輝先生に重ねてしまったのは私だけでしょうか?素敵でほっこりする授業をありがとうございました😊



RSを
自立活動
から学ぶ

本日の

キーワード

【RSノート】

RSの本質である「認知負荷の軽減」のためにおこなうRSトレーニング、それを実践していくためのツールとして用意されているのが“RSノート”

RSノートの主な取り組み例

学校の授業や家庭学習において、読解力向上を目指して以下のような学習活動が行われる。

視写(書き写し)：教科書などの重要な文章を正確に書き写す。

読み取り問題：視写した文章の内容に関する問題に答える。

定義文の特定：「～を〇〇という」といった定義文に注目し、それをノートに書き写して具体例を考える。

指示語の明確化：「それ(ら)」「これ(ら)」といった指示語が何を表しているかを考え、ノートに書き加える。

『RSノート』を
実践・継続していくことで
期待できる効果

- 自分で教科書を開いて、復習する習慣がつく
- 毎日作成することで、達成感を実感できる
- 提出すれば、読解力や理解度を先生にみてもらうことができる
- リーディングスキルを意識することで、学力が向上する